シルバー はちまんたい

No.5
2026（令和 8）.8.15

公益社団法人
八幡平市シルバー人材センター
〒028-7301
岩手県八幡平市野駄 20-36
（電話）0195-68-7847
（ファクス）0195-68-7848
（E メール）hachimantai@sjc.ne.jp

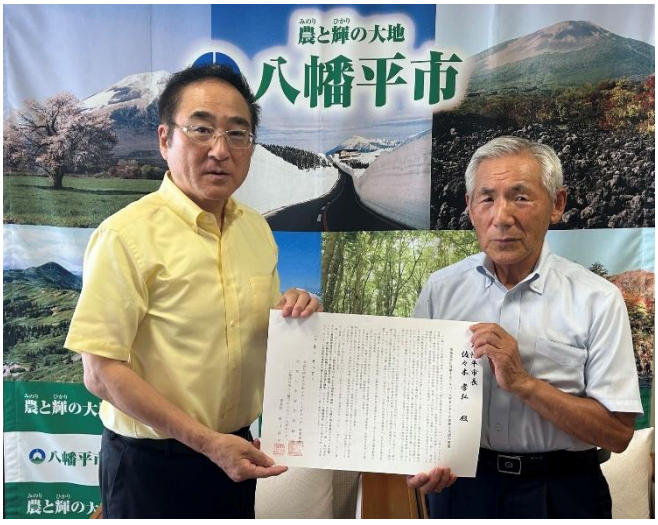


市長に要望書を提出

８月７日、西山理事長が市役所を訪れ、佐々木孝弘市長に要望書を提出しました。

この要望書は、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会会長と当センターの西山理事長の連名で出されたもので、社会貢献に対する会員一同の決意を表明するとともに、会員活動への補助金や事業発注など、各般にわたる支援を要望しました。

これに対し、佐々木市長からは、日頃の会員活動に感謝するとともに、今後さらなる活動に期待を寄せました。



佐々木市長（写真左）に西山理事長が要望書を提出

活動紹介

学習院の歴史を刻む公園



記念公園を草刈りする会員たち（円内：記念碑）

八幡平アスピーテライン途中の左手に、旧松尾鉱山アパート群に隣接して学習院八幡平校舎記念公園が広がっています。

ここにはかつて松尾鉱山病院がありましたが、閉山時に学習院が払い下げを受け、学習院八幡平校舎（合宿所）としました。

同施設も平成 18 年に解体し、現在は敷地が記念公園として整備されています。

当センターでは、時折訪れる卒業生や関係者のため、市からの依頼により、広い公園内の草刈りを定期的に実施しています。

全国統一安全就業スローガン（佳作）「これくらい　思う過信が　事故のもと」

楽しく、安全に働くための

注意とアドバイス ②

東京都健康長寿医療センター研究所が東京都シルバー人材センター連合の協力で、過去１年間の事故やケガの実態などを調査し、リーフレットとして公表しました。

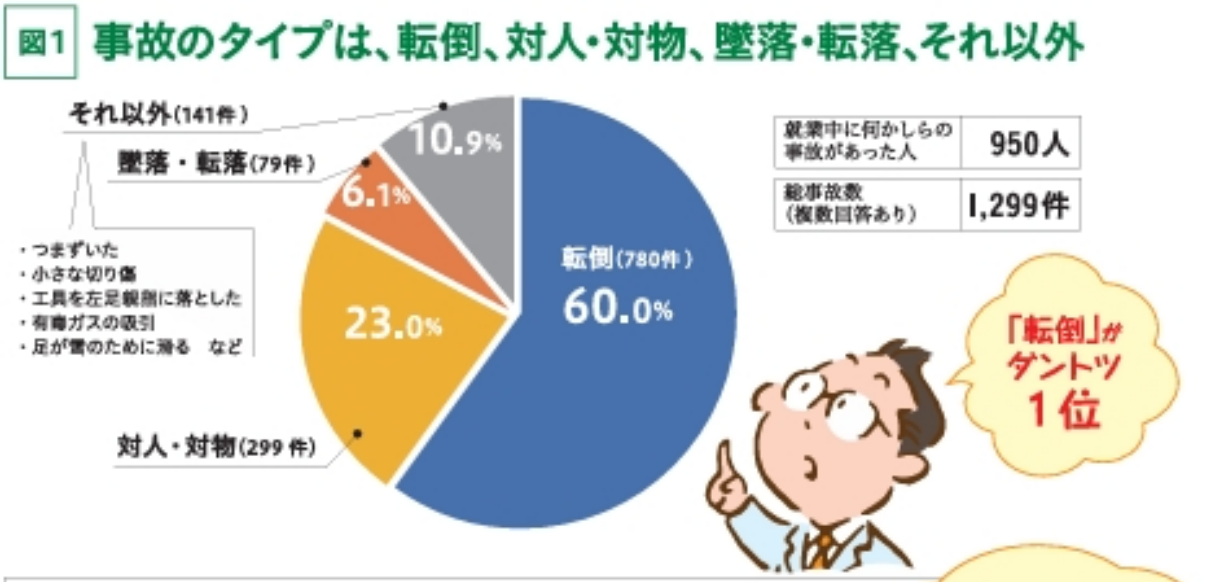
会報「シルバーはちまんたい」では、このリーフレットを制作した株式会社社会保険出版社に承諾いただき、今回から数回にわたって紹介します。皆さんもこれを読んで、事故に遭わないよう注意しましょう。

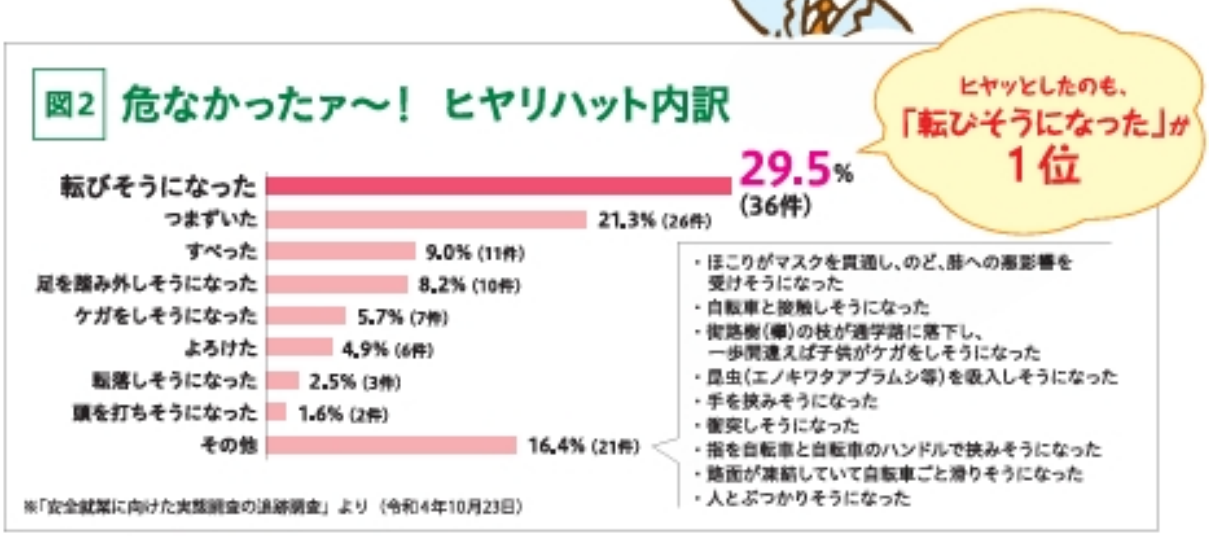
図１は、シルバー会員の就業中における事故のタイプを表にしたものです。

最も多い事故は「転倒」の 60.0%で、「対人・対物」の 23.0%、「墜落・転落」の 6.1%などが続いています。

図２は、「危ない」と思った内訳です。

最も多いのは、「転びそうになった」の 29.5%で、「つまずいた」の 21.3%、「すべった」の 9.0%などが続いています。





（出典：「楽しく、安全に働くための注意とアドバイス」
東京都健康長寿医療センター研究所／東京都シルバー人材センター連合）＝無断転載禁止＝

事務所だより　先日、職員が市内を走行中、民家の敷地から車が後ろ向きで道路に。「危ない」と思い運転席を見ると、何と会員さんだったそうです。「自分は大丈夫」と思っても、後ろ向きで道路に出るのは危険です。みんなで気を付けましょう。さて、その運転手は誰かというと…それは秘密です。